

授業概要

福祉心理学は福祉のための心理学という考え方で、福祉に役立つ心理学的知見の提供を目指すことと同時に、福祉問題を心理学的に研究することを目標としています。この授業では、福祉現場において生じる問題及びその背景、福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援について、理解を深めることができるような講義をします。

授業計画

第1回	ガイダンス
第2回	福祉に関する心理学（最近の福祉に関する社会状況、福祉と心理学）
第3回	心理学的理解の方法（発達状況を把握するための心理検査・老人あるいはその他に関する心理検査）
第4回	問題行動の心理学1（非行・いじめ・精神障害などの問題行動）
第5回	問題行動の心理学2（問題行動の発生要因）
第6回	問題行動の心理学3（問題行動への心理的対処方法）
第7回	障害児・者の心理学1（障害児・者の心理、行動特性）
第8回	障害児・者の心理学2（障害児・者をとりまく社会状況、虐待の問題も含む）
第9回	高齢者の心理学1（老年期の心理的特徴とその要因）
第10回	高齢者の心理学2（老年期の問題行動への心理的援助）
第11回	福祉と心理学的援助1（認知行動療法、家族療法）
第12回	福祉と心理学的援助2（遊戯療法、描画療法、コラージュ療法）
第13回	家庭問題の心理学1（子ども虐待）
第14回	家庭問題の心理学2（子ども虐待の原因）
第15回	家庭問題の心理学3（虐待防止と心理的援助）
第16回	筆記試験

到達目標

- ・福祉現場において生じる問題及びその背景について理解する。
- ・福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援について理解する。
- ・虐待についての基本的知識を理解する。

履修上の注意

- ・この科目は、公認心理師になるために必要な科目として対応しています。
- ・児童虐待、高齢者虐待、障害者虐待などの課題について現状・問題点を正しく理解するために、受講生の皆さんから積極的な意見を求めたいと思います。

予習復習

予習・復習（それぞれ1時間）の便宜を図るため、資料は毎時間配布します。リアクションペーパーの質問コーナーに質問していただければ、翌週、必ず応えます。講義の予習・復習になりますので、積極的に活用してください。

評価方法

学期末試験70%、授業内レポート（毎回提出するリアクションペーパーへのコメント、講義への参加意欲等）30%で評価します。

テキスト

杉山雅宏 著 「福祉心理学を活かした問題を抱えた子どもの支援」東京六法出版（近刊）
資料はその都度配布します。